

## 第2章 障害のある人を取り巻く現状

### 1 障害のある人の推移

#### (1) 人口の推移

本市の総人口は増加傾向にあり、平成17年度で61,953人となっています。特に、65歳以上の増加率が高くなっています。

表 人口の推移 (単位：人)

区 分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
総人口	58,214	59,277	60,407	61,953
18歳未満	12,565	12,866	13,128	13,536
18～64歳	39,029	39,432	40,038	40,788
65歳以上	6,620	6,979	7,241	7,629

各年度3月31日現在

資料：住民基本台帳

#### (2) 障害のある人の推移

##### ア 身体障害のある人

身体障害者数は増加傾向にあり、平成17年度で1,889人となっています。また、重度障害者が約47%となっています。

表 年齢別身体障害者手帳交付数の推移 (単位：人)

区 分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
18歳未満	59	57	58	60	63
18歳以上	1,367	1,453	1,538	1,707	1,826
計	1,426	1,510	1,596	1,767	1,889

各年度3月31日現在

資料：家庭・障害福祉課

表 障害等級別身体障害者手帳交付数の推移 (単位：人)

区 分	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
1 級	345	398	453	507	570
2 級	266	270	281	303	313
3 級	241	255	260	292	301
4 級	337	342	357	414	444
5 級	127	128	128	131	138
6 級	110	117	117	120	123
計	1,426	1,510	1,596	1,767	1,889

各年度 3 月 31 日現在

資料：家庭・障害福祉課

イ 知的障害のある人

知的障害者数は増加傾向にあり、平成 17 年で 316 人となっています。また、A 判定が約 41%となっています。

表 年齢別療育手帳交付数の推移 (単位：人)

区 分	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
18 歳未満	70	79	90	103	118
18 歳以上	160	164	180	192	198
計	230	243	270	295	316

各年度 3 月 31 日現在

資料：家庭・障害福祉課

表 判定別療育手帳交付数の推移 (単位：人)

区 分	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
A 判定	110	118	118	126	131
B 判定	120	125	132	169	185
計	230	243	270	295	316

各年度 3 月 31 日現在

資料：家庭・障害福祉課

## ウ 精神障害のある人

精神障害者数は増加傾向にあり、平成17年度で114人となっています。また、1級が約8%となっています。また、精神障害者保健福祉手帳所持者と通院医療費公費負担者を比較すると、手帳所持者数の3倍の通院医療費公費負担者数となっています。

表 年齢別精神障害者保健福祉手帳交付数の推移 (単位：人)

区分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
20歳未満	0	0	1	1	3
20歳以上	53	64	94	103	111
計	53	64	95	104	114

各年度3月31日現在

資料：家庭・障害福祉課

表 障害等級別精神障害者保健福祉手帳交付数の推移 (単位：人)

区分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
1級	4	4	7	8	9
2級	35	44	64	71	77
3級	14	16	24	25	28
計	53	64	95	104	114

各年度3月31日現在

資料：家庭・障害福祉課

表 精神疾患別通院医療費公費負担者 (単位：人)

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度
症状性又は器質性精神障害	2	1	1
脳血管障害及びその後遺症	0	0	0
老年性認知症	1	0	0
中毒性精神障害	11	18	17
統合失調症圏	63	74	70
そううつ病圏	98	130	131
その他の神経病	11	13	19
神経症	32	42	37
精神病質	1	1	4
児童・思春期精神障害	0	0	1
てんかん	34	40	38
知的障害	0	0	0
その他	27	46	24
計	280	365	342

各年度3月31日現在

資料：草津保健所

エ 難病患者

全身性エリテマトーデス、潰瘍性大腸炎、パーキンソン病関連疾患の患者数が特に多くなっています。

表 特定疾患患者数

(単位：人)

病名	患者数
ベーチェット病	5
多発性硬化症	6
重症筋無力症	5
全身性エリテマトーデス	20
スモン	1
再生不良性貧血	4
サルコイドーシス	9
筋萎縮性側索硬化症	5
強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	7
特発性血小板減少性紫斑病	8
潰瘍性大腸炎	32
脊髄小脳変性症	7
クローン病	11
パーキンソン病関連疾患	37
後縦靭帯骨化症	12
モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	3
特発性拡張型（うっ血型）心筋症	14
多系統萎縮症	3
原発性胆汁性肝硬変	7
特発性大腿骨頭壊死症	2
混合性結合組織病	2
網膜色素変性症	10
その他	20
計	230

平成 18 年 3 月 31 日現在

資料：草津保健所

オ 小児慢性特定疾患数

小児慢性特定疾患数は、平成 18 年 3 月末現在において 101 人となっており、慢性心疾患、内分泌疾患の患者数が多くなっています。

## 2 障害のある人の社会参加の現状

## (1) 教育環境

## ア 小学校就学前の障害児の教育・療育

通園児数は増加傾向にあり、平成18年度で69人となっています。

表 心身障害児通園施設（通園児数）の推移 (単位：人)

施設名	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
たんぼぼ教室	46	66	65	66	69

各年度3月31日現在（平成18年度は12月1日現在）

資料：幼児課

## イ 盲・聾・養護学校

在学者数は、ほぼ横ばいとなっており、平成18年度で幼稚部3人、小学部19人、中学部11人、高等部13人となっています。

表 盲・聾・養護学校の在学者数の推移 (単位：人)

種別	学校	栗東市の在学者数					
		平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	
聴覚障害	県立聾話学校	幼稚部	1	2	2	1	3
		小学部	3	2	3	4	2
		中学部	1	1	0	1	2
		高等部	2	1	1	0	0
視覚障害	県立盲学校	幼稚部	0	0	0	0	0
		小学部	3	1	2	1	1
		中学部	0	1	1	2	1
		高等部	2	1	0	1	2
知的障害 身体障害	県立草津養護学校	小学部	14	14	15	15	16
		中学部	4	4	3	8	8
		高等部	11	11	14	12	11
幼稚部計		1	2	2	1	3	
小学部計		20	17	20	20	19	
中学部計		5	6	4	11	11	
高等部計		15	13	15	13	13	

各年度5月1日現在

資料：各学校

ウ 小学校・中学校の特殊学級

特別支援学級在学者数は、知的障害、情緒障害の在学者数が多く、合わせて約 86% となっています。

また、通級指導を受けている児童数は増加傾向にあり、平成 18 年度で 55 人となっています。

表 児童生徒が通う小学校・中学校の特殊学級の在学状況 (単位：人)

区分	在学者数									計
	小学校						中学校			
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
知的障害	6	6	3	3	6	1	3	4	3	35
情緒障害	4	3	3	4	1	3	4	1	2	25
肢体不自由	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
難聴	1	0	1	2	0	0	0	0	0	4
病弱・身体虚弱	0	0	0	0	1	1	1	1	0	4
計	11	10	7	9	8	5	8	7	5	70

平成 18 年 5 月 1 日現在

資料：学校教育課

表 通級による指導を受けている児童数の推移 (単位：人)

	小学生	中学生	計
平成 14 年度	15	0	15
平成 15 年度	21	0	21
平成 16 年度	44	1	45
平成 17 年度	42	0	42
平成 18 年度	53	2	55

市ことばの教室通室は除く  
各年度 5 月 1 日現在

資料：学校教育課

(2) 就業状況

障害者実雇用率は減少傾向にあり、平成17年度で1.67%となっています。

新規求職申込数は、平成17年度で156件となっており、就職件数は、89件となっています。

公共職業安定所の登録者数は、第一種登録者では上肢、下肢の割合が、第二種登録者では知的障害の割合が高くなっています。

表 障害者雇用の推移状況（滋賀県）

	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度
企業数(社)	459	469	460	505	538
(内法廷雇用達成企業数)(社)	281	266	260	276	293
法定雇用率達成企業の割合(%)	61.2	56.7	56.5	54.7	54.5
基礎労働者数(人)	83,852	83,540	85,228	89,628	94,210
(内障害者数)(人)	1,560	1,509	1,534	1,507	1,576
実雇用率(%)	1.86	1.81	1.80	1.68	1.67

各年度6月1日現在

資料：草津公共職業安定所

企業は県内に本社があり、56人以上雇用している企業

表 障害者雇用の推移状況（草津所管内）

	平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度	
	知的 精神	身体	知的 精神	身体	知的 精神	身体	知的 精神	身体	知的 精神	身体
新規求職申込数(件)	147		150		174		193		156	
就職件数(件)	51		56		74		103		89	
新規登録者数(人)	13	73	19	73	30	65	57	82	35	66
有効求職数(人)	42	143	62	192	108	274	127	273	113	215
就職中の者(人)	233	435	235	440	224	430	259	472	284	520
保留中の者(人)	77	137	66	130	62	126	65	151	92	222

各年度6月1日現在

資料：草津公共職業安定所

表 公共職業安定所に登録している障害のある人の状況（草津所管内）

		登録者数		有効求職者		就業者		保留中	
		人	%	人	%	人	%	人	%
第一種 登録者	視覚	55	3.8	13	4.0	23	2.9	19	6.1
	聴覚・言語等	194	13.4	34	10.4	140	17.4	20	6.4
	上肢	228	15.8	52	15.9	133	16.5	43	13.7
	下肢	251	17.4	54	16.5	125	15.5	72	22.9
	体幹	42	2.9	6	1.8	25	3.1	11	3.5
	脳病変	8	0.6	1	0.3	5	0.6	2	0.6
	内部疾患	179	12.4	55	16.8	69	8.6	55	17.5
	小計	957	66.2	215	65.5	520	64.7	222	70.7
第二種 登録者	知的障害	377	26.1	57	17.4	252	31.3	68	21.7
	その他	112	7.7	56	17.1	32	4.0	24	7.6
	小計	489	33.8	113	34.5	284	35.3	92	29.3
合 計		1,446	100.0	328	100.0	804	100.0	314	100.0

平成18年3月31日現在

資料：草津公共職業安定所

### 3 障害のある人への生活支援の現状

#### (1) 公的サービスの現状

##### ア 在宅生活支援サービス

##### (ア) 訪問介護員（ホームヘルパー）の派遣

ホームヘルプサービスの利用は増加傾向にあります。特に、身体障害者、障害児の利用延時間が多くなっています。

表 ホームヘルプサービスの利用推移

		平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
身体	利用人数（人）	16	22	22
	利用延時間（時間）	1,634.5	2,254.5	5,253.5
知的	利用人数（人）	24	23	31
	利用延時間（時間）	981.5	1,420.5	2,227.5
精神	利用人数（人）	6	6	11
	利用延時間（時間）	592.0	915.5	1,534.95
児童	利用人数（人）	28	43	47
	利用延時間（時間）	1,735.5	2,886.5	5,789.5

資料：家庭・障害福祉課

##### (イ) 日帰り介護（デイサービス）

デイサービスの利用は全体的に増加傾向にありますが、知的障害者の利用延回数は減少しています。

表 デイサービスの利用推移

		平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
身体	決定人数（人）	7	13	15
	利用延回数（回）	316	582	1097
知的	決定人数（人）	40	41	43
	利用延回数（回）	333	286	247
児童	決定人数（人）	80	86	87
	利用延回数（回）	2,264	2,870	3,428

資料：家庭・障害福祉課

(ウ) 短期入所生活介護（ショートステイ）

ショートステイの利用は増加傾向にあります。特に、知的障害者の利用延日数が多くなっています。

表 ショートステイの利用推移

		平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
身体	利用人数（人）	3	5	7
	利用延日数（日）	81	79	89
知的	利用人数（人）	22	47	38
	利用延日数（日）	148	171	403
精神	利用人数（人）	1	2	1
	利用延日数（日）	5	14	7
児童	利用人数（人）	12	37	20
	利用延日数（日）	59	165	150

資料：家庭・障害福祉課

(エ) グループホーム

グループホームの利用は増加傾向にあります。

表 グループホームを利用している知的障害のある人の利用推移 (単位：人)

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
利用人数	25	90	108

資料：家庭・障害福祉課

(オ) 補装具の交付・修理

補装具の交付・修理の利用はほぼ横ばいとなっています。

表 補装具の交付・修理の利用推移 (単位：人)

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
利用人数	1,041	1,038	1,024

資料：家庭・障害福祉課

## (カ) 在宅重度身体障害者訪問診査

在宅重度身体障害者訪問診査の利用はみられません。

表 在宅重度身体障害者訪問診査の利用推移 (単位：人)

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
利用人数	0	0	0

資料：家庭・障害福祉課

## (キ) 訪問入浴サービス事業

訪問入浴サービス事業の利用はほぼ横ばいとなっています。

表 訪問入浴サービス事業の利用推移 (単位：人)

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
利用人数	4	4	2

資料：家庭・障害福祉課

## (ク) 日常生活用具の給付

日常生活用具の給付の利用は減少傾向にあります。

表 日常生活用具の給付の利用推移 (単位：人)

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
利用人数	41	42	33

資料：家庭・障害福祉課

## (ケ) 心身障害児・者紙おむつ助成制度

心身障害児・者紙おむつ助成制度の利用は緩やかな増加傾向にあります。

表 心身障害児・者紙おむつ助成制度の利用推移 (単位：人)

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
対象人数	33	39	44

資料：家庭・障害福祉課

(コ) 緊急通報装置設置事業

緊急通報装置設置事業の利用はみられません。

表 緊急通報装置設置事業の利用推移 (単位：件)

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
利用件数	0	0	0

資料：家庭・障害福祉課

(サ) 在宅重度障害者住宅改造費助成制度

在宅重度障害者住宅改造費助成制の利用はほぼ横ばいとなっていますが、助成額は増加傾向にあります。

表 在宅重度障害者住宅改造費助成制度の利用推移

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
利用件数(件)	3	5	5
助成額(円)	986,285	2,045,000	2,120,000

資料：家庭・障害福祉課

イ 移動・交通サービス

(ア) 身体障害者自動車操作訓練費(運転免許取得費)助成制度

身体障害者自動車操作訓練費助成制度の利用はほぼ横ばいとなっています。

表 身体障害者自動車操作訓練費(運転免許取得費)助成制度の利用推移

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
利用件数(件)	1	0	2
助成額(円)	100,000	0	140,250

資料：家庭・障害福祉課

(イ) 身体障害者自動車改造費助成制度

身体障害者自動車改造費助成制度の利用はほぼ横ばいとなっています。

表 身体障害者自動車改造費助成制度の利用推移

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
利用件数 (件)	2	5	2
助成額 (円)	200,000	500,000	200,000

資料：家庭・障害福祉課

(ウ) リフト付きタクシー運行事業

リフト付きタクシー運行事業の利用は減少傾向となっています。

表 リフト付きタクシー運行事業の利用推移

(単位：人)

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
利用人数	78	38	21

資料：家庭・障害福祉課

(エ) タクシー運賃助成、燃料費助成

タクシー運賃助成、燃料費助成の利用はほぼ横ばいとなっています。

表 タクシー運賃助成、燃料費助成の利用推移

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
利用数 (枚)	15,196	14,621	15,997
助成額 (円)	7,598,000	7,310,500	7,998,500

1枚あたり 500 円

資料：家庭・障害福祉課

ウ 保健・医療サービス

(ア) 健康診査

健康診査受診実人員数は増加傾向にあり、特に3歳児健診受診実人員の増加が多くなっています。

表 乳幼児期の健康診査受診実人員数の推移 (単位：人)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
4か月児健診	855	891	878	867	880
10か月児健診	829	872	872	896	895
1歳6か月児健診	861	826	871	864	881
3歳児健診	719	715	742	776	839

資料：健康増進課

(イ) 育成医療の給付

育成医療受給者数はほぼ横ばいとなっています。また、その他内臓障害の割合が高くなっています。

表 育成医療受給者数の推移 (単位：人)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
肢体不自由	4	4	7	9	9
視覚障害	14	4	2	5	11
聴覚・平衡機能障害	2	3	3	3	4
音声・言語機能障害	6	4	8	4	10
心臓障害	8	7	9	2	9
じん臓障害	1	1	2	0	1
その他内臓障害	25	37	17	33	19
合計	60	60	48	56	63

資料：家庭・障害福祉課

## (ウ) 更生医療の給付

更生医療受給者数は平成 15 年度で増加していますが、全体ではほぼ横ばいとなっています。また、心臓障害、じん臓障害の割合が高くなっています。

表 更生医療受給者数の推移

(単位：人)

	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度
肢体不自由	5	2	9	5	10
視覚障害	0	0	1	0	0
聴覚・平衡機能障害	0	0	2	1	0
心臓障害	37	31	57	24	27
じん臓障害	14	15	49	34	27
その他内臓障害	1	0	0	0	0
合計	57	48	118	64	64

資料：家庭・障害福祉課

## (エ) 障害者医療費の助成

障害者医療費の助成は増加傾向となっています。

表 障害者医療費の助成実績の推移

	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度
受給者数(人)	1,163	1,205	1,285	1,343	1,388
年間受診件数(件)	22,001	23,778	26,527	29,176	33,638
1人当り助成額(円)	118,277	122,564	144,209	139,246	146,083

資料：福祉保険課

(オ) 重度心身障害老人等医療費の助成

重度心身障害老人等医療費の助成は増加傾向となっています。

表 重度心身障害老人等医療費の助成実績の推移

	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度
受給者数(人)	602	626	653	681	726
年間受診件数(件)	11,723	13,132	14,897	16,187	18,296
1人当り助成額(円)	38,435	48,474	63,741	68,837	72,077

資料：福祉保険課

(カ) 福祉医療費の助成

福祉医療費の助成は増加傾向となっています。

表 福祉医療費の助成実績の推移

	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度
受給者数(人)	561	579	632	662	662
年間受診件数(件)	10,278	10,646	11,630	12,989	15,342
1人当り助成額(円)	99,121	99,216	121,568	118,171	130,686

資料：福祉保険課

(キ) 精神障害者通院医療費公費負担

精神障害者通院医療費公費負担申請者数は、平成17年度において342人となっており、平成15年度に比べ、約1.2倍となっています。

表 精神障害者通院医療費公費負担申請者数の推移

(単位：人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度
申請者数	280	365	342

資料：家庭・障害福祉課

## エ 働く場

共同作業所等に通所している人数は減少傾向にあります。

表 共同作業所通所等人数の状況

(単位：人)

施設名	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度
栗東なかよし作業所	23	25	0	0	0
福祉作業所ほほえみ苑	11	9	8	10	9
しがなんれん作業所	7	9	9	8	8
スペースウィン	1	0	0	0	0
ワークショップぷくぷく	1	1	1	1	1
もりやま共同作業所	2	2	0	0	0
若竹共同作業所	3	3	2	2	1
33企画	2	1	1	1	1
きらら共同作業所	3	4	5	7	4
愛育苑	0	1	1	0	0
とよさと共同作業所	1	0	0	0	0
スマイルくさつ共同作業所	1	1	1	1	1
ポプリン	0	0	2	2	2
守山はぐくみ共同作業所	0	0	0	1	1
しあわせ作業所	0	1	1	2	1
にぎやか工房	0	0	0	1	2
パレット・ミル	4	4	3	8	8
がんばカンパニー	1	2	2	2	2
パレット・ミル(パワフル)	0	0	0	0	1
第二きらら共同作業所	0	0	0	0	3
アイコラボ・レーション	0	0	0	1	0
共働作業所出合いの家	3	4	3	4	1
こなんSSN	3	3	4	1	4
グリーンクラブ	0	0	2	2	2
陽だまり	0	0	1	2	3
スペースウィン2	0	0	0	0	1
合計	66	70	46	56	56

各年度3月31日現在(平成18年度は10月1日現在)

資料：家庭・障害福祉課

オ 相談活動

身体障害のある人の相談件数はほぼ横ばいとなっていますが、知的障害のある人の相談件数は年々増加しています。また、精神障害のある人の相談件数は平成16年度までは大きく増加していましたが、平成17年度では平成15年度と同程度まで減少しています。

表 相談活動の実施状況の推移 (単位：件)

	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度
身体障害のある人	350	360	375	373	391
知的障害のある人	185	201	230	252	243
精神障害のある人	45	342	497	782	461
合計	580	903	1,102	1,407	1,095

資料：家庭・障害福祉課

(2) 人的資源の状況

ア 各種専門職の状況

本市における障害者関連専門職の状況は、保健師が12人、社会福祉士が5人、理学療法士が1人、手話通訳士が1人、精神保健福祉士が1人、心理士が3人となっています。

表 市内の障害者関連専門職の状況 (単位：人)

職種	人数	職種	人数	職種	人数
作業療法士	0	保健師	12	社会福祉士	5
理学療法士	1	手話通訳士	1	精神保健福祉士	1
心理判定員	3	介護福祉士	0	言語療法士	0

平成19年3月31日現在

資料：家庭・障害福祉課

## イ ボランティア団体等の状況

## (ア) ボランティア団体

ボランティア登録団体・登録人数は増加傾向にあります。

表 ボランティア登録団体・登録人数の推移

	グループ登録		個人登録	登録人数
	団体数(団体)	人数(人)	人数(人)	人数(人)
平成15年度	98	3,015	147	3,162
平成16年度	103	3,177	155	3,332
平成17年度	106	3,262	159	3,421

各年度3月31日現在

資料：家庭・障害福祉課

## (イ) 民生委員・児童委員、身体障害者、知的障害者相談員

身体障害者相談員が12人、知的障害者相談員が5人となっています。

表 民生委員・児童委員、身体障害者相談員、知的障害者相談員の人数 (単位：人)

	民生委員・児童委員	身体障害者相談員	知的障害者相談員
人数	131	12	5

資料：家庭・障害福祉課

(3) 入所・通所施設の状況

入所・通所している障害者数は身体障害者、知的障害者ともに増加傾向となっています。特に、知的障害者の通所者が多くなっています。

表 入所・通所している身体障害のある人の推移 (単位：人)

	施設名	所在地	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度
入 所 施 設	府立視力障害者福祉センター	京都府	1	0	0	0	0
	むれやま荘(入所)	草津市	2	1	1	2	2
	福井県美山荘	福井県	1	1	1	1	1
	清湖園	高島市	2	2	1	1	1
	湖北タウンホーム	虎姫町	1	1	1	1	1
	湖南ホームタウン	守山市	0	0	0	0	4
	るりこう園	甲賀市	1	1	1	1	1
	友愛園	福井県	0	0	0	1	1
	八野ワークセンター	三重県	1	1	1	1	1
	小計		9	7	6	8	12
通 所 施 設	むれやま荘(通所)	草津市	0	0	0	0	2
	にっこり作業所	野洲市	1	1	1	1	1
	八身共同印刷	東近江市	2	2	2	2	2
	若竹作業所	草津市	2	2	3	3	3
	小計		5	5	6	6	8
合計			14	12	12	14	20

各年度3月31日現在(平成18年度は10月1日現在)

資料：家庭・障害福祉課

表 入所・通所している知的障害のある人の推移

(単位：人)

	施設名	所在地	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度
入所施設	かいげ寮	彦根市	0	0	1	1	1
	信楽青年寮	甲賀市	2	2	2	2	2
	彦根学園	彦根市	1	2	2	2	2
	一麦寮	湖南市	2	2	2	2	2
	蛭の里	守山市	10	10	10	10	10
	杉山寮	高島市	1	1	1	1	1
	晩成学園	北海道	1	1	1	1	1
	しゃくなげ園	日野町	0	1	1	0	0
	和	京都府	1	1	1	1	1
	落穂寮	湖南市	0	2	2	2	2
	隆光学園	大阪府	0	0	0	1	1
	小計		18	22	23	23	23
通所施設	むつみ園	草津市	12	13	13	13	13
	あすなる園	豊郷町	1	2	2	2	1
	あじさい園	守山市	2	2	2	2	2
	栗東なかよし作業所	栗東市	19	20	21	17	23
	にぎやか塾	草津市	2	3	3	3	2
	瑞穂	大津市	1	0	0	0	0
	どんぐり作業所	東近江市	1	1	1	1	1
	第二栗東なかよし作業所	栗東市	0	0	16	20	19
	もりやま作業所	守山市	0	0	2	2	2
	信楽通勤寮	甲賀市	0	0	0	2	0
	小計		38	41	60	62	63
合計		56	63	83	85	86	

各年度3月31日現在(平成18年度は10月1日現在)

資料：家庭・障害福祉課